

佐川町 防災ハザードマップ



緊急連絡先・防災関連施設一覧

佐川町役場 (22-1111)		警察署 (110)	
危機管理対策室	22-7700	佐川警察署	22-0110
建設課(道路)	22-7712	消防(119)	
建設課(水道)	22-7713	高吾北消防本部(火災・救急)	26-2111
産業振興課(農地)	22-7708	医療機関・救急(119)	
健康福祉課	22-7705	高北病院	22-1166
		清和病院	22-0300

主要避難所一覧

名称	所在地	電話番号	名称	所在地	電話番号
佐川小学校*	佐川町乙 2166	22-0065	尾川小中学校*	佐川町本郷 1879	22-0446
佐川中学校	佐川町甲 1936-1	22-1255	黒岩小学校*	佐川町黒原 482	22-9325
文化センター	佐川町甲 356-2	22-1110	黒岩中学校*	佐川町黒原 2799	—
斗賀野小学校*	佐川町中組 77	22-1170	加茂小学校*	日高村岩目地 48	24-4600
さかわふれあいセンター 遊学館・さわか児童館	佐川町永野 1704	22-1209	加茂中学校*	日高村岩目地 164	20-1517

このマップに関するお問い合わせ **佐川町役場** 危機管理対策室 ☎0889-22-7700

新たな防災気象情報の運用 令和8年5月下旬運用スタート

防災関係機関や地域住民の皆様が、より効果的に避難等の行動をとるため、令和8年5月下旬から気象の警報などが大きく変わる予定です。新たな防災気象情報は、情報名称に警戒レベルの数字が付けられるなど、自治体が発する避難指示等の避難情報や住民がとるべき避難行動との関係が分かりやすくなります。

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1				

- ポイント1** 警報・注意報の情報名に「レベル」が付与されます
- ポイント2** 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)
- ポイント3** 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます
- ポイント4** 令和8年5月下旬(予定)の大雨時期より運用がスタートとなります

気象情報と避難情報の入手先

- 高知地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/kochi/index.html>
- 川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>
- 佐川町役場 <http://www.town.sakawa.lg.jp/>
- 防災情報提供センター <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
- 高知風水防情報システム <https://suibo-kouho.suibou.pref.kochi.lg.jp/>

わが家の防災メモ 突然やってくる災害、あわてないためにすぐに記入しよう!

わが家の(指定)緊急避難場所 **わが家の(指定)避難所**

わが家の集合場所

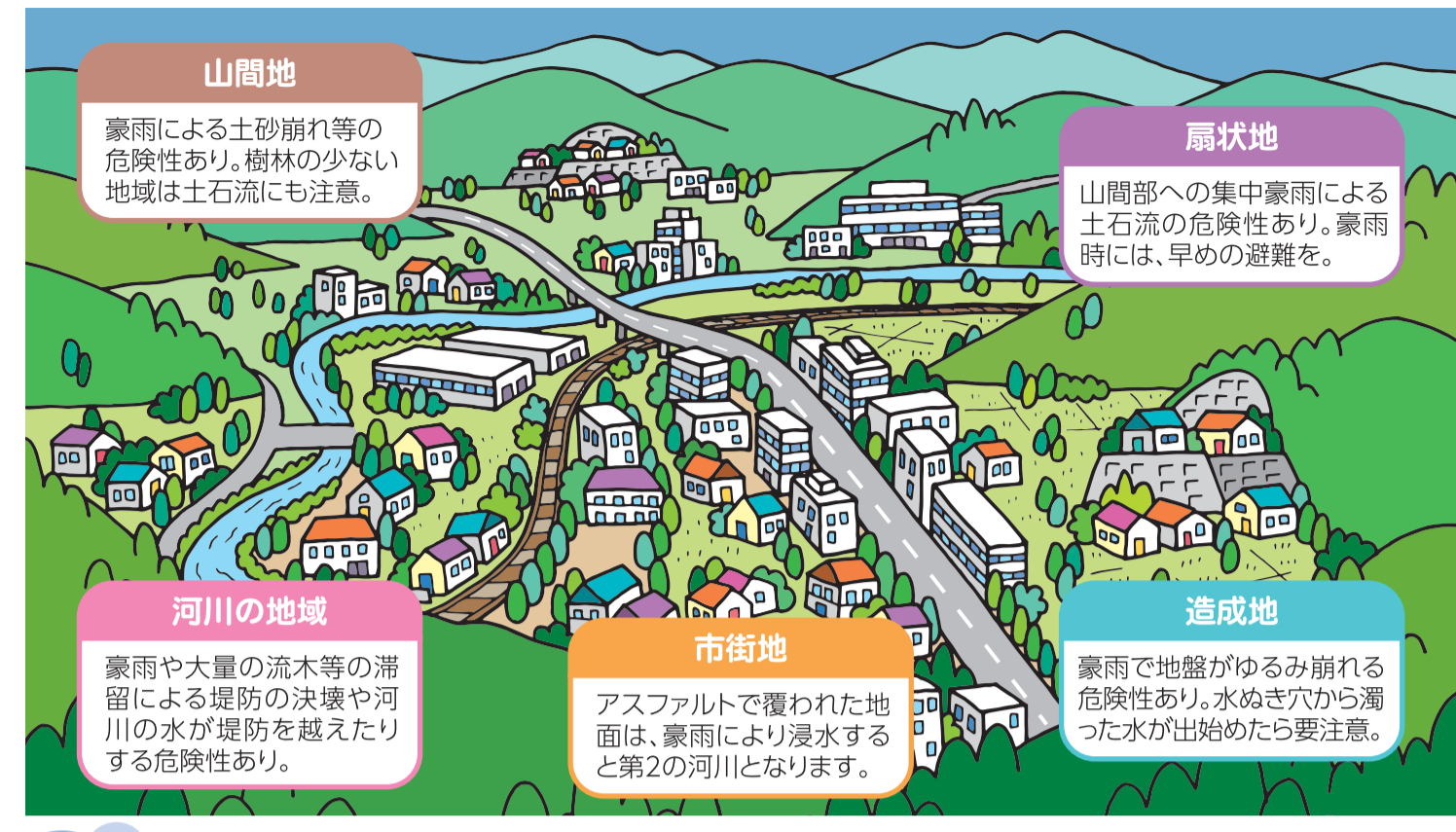
外出先で災害が起こった場合の安否の確認方法や集合場所について、事前に決めておくことが大切です。家族で集合場所が共有できるように書き込んでおきましょう。

●安否の確認方法

- 一次集合場所
- 二次集合場所

風水害 平常時から、安全な避難場所と経路を覚えておきましょう!

台風や豪雨の威力は計り知れないものがあり、人命や財産などに大きな被害をもたらします。自分の住んでいる地域の地形や地質をしっかりと把握し、日頃から気象情報などに十分注意しましょう。



大雨や台風に乗って

家の修理は事前に 屋根瓦のずれ、窓ガラスや外壁のひび割れ、雨どいのつまりなどを検査し、修理をしておきましょう。また、ブロック塀や板塀も補強しましょう。

家の周囲の安全対策 プロパンガスは錆でしっかり固定しましょう。風で吹き飛ばされやすいため、室内へ、不安定なアンテナも針金で固定しましょう。

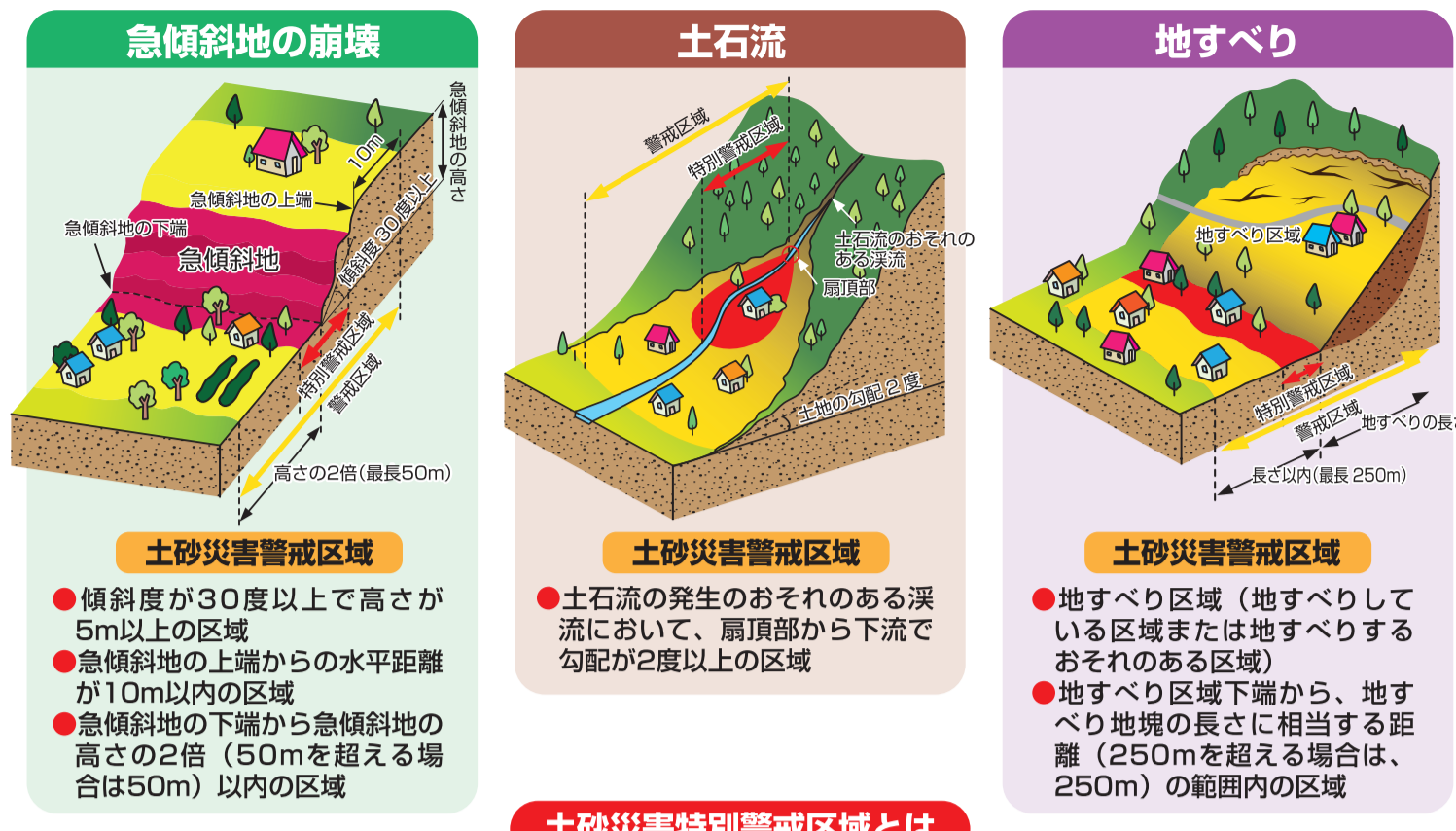
気象情報を良く確認して ラジオやテレビ、インターネットなどで台風の動きを確認しましょう。台風の勢力範囲に入る前に防災対策や避難準備をしましょう。

排水溝などの点検 家の前の排水溝がゴミなどでつまっていないか確認が必要です。また、雨どいなどが、備ででないか確認しておきましょう。

浸水対策を万全に 床上浸水のおそれがある家では、食料・衣類など生活必需品、水のつからない高いところに移しましょう。水が入ってきておそれる土のうなどを横断で防ぎましょう。

避難するときの心掛け 避難するときは、2人以上ではくれないようにロープで結び、特に子どもからは目を離さず、長い棒などを杖代わりにして水面を確認しながら歩きましょう。

土砂災害 前兆現象を察知して、早めの避難を!



土砂災害特別警戒区域とは 土石等の移動などにより建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動などに対して住民の生命等や身体に著しい危害が生ずるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域

前兆現象を知り、危険から身を守ろう!

谷の出口付近は特に注意!

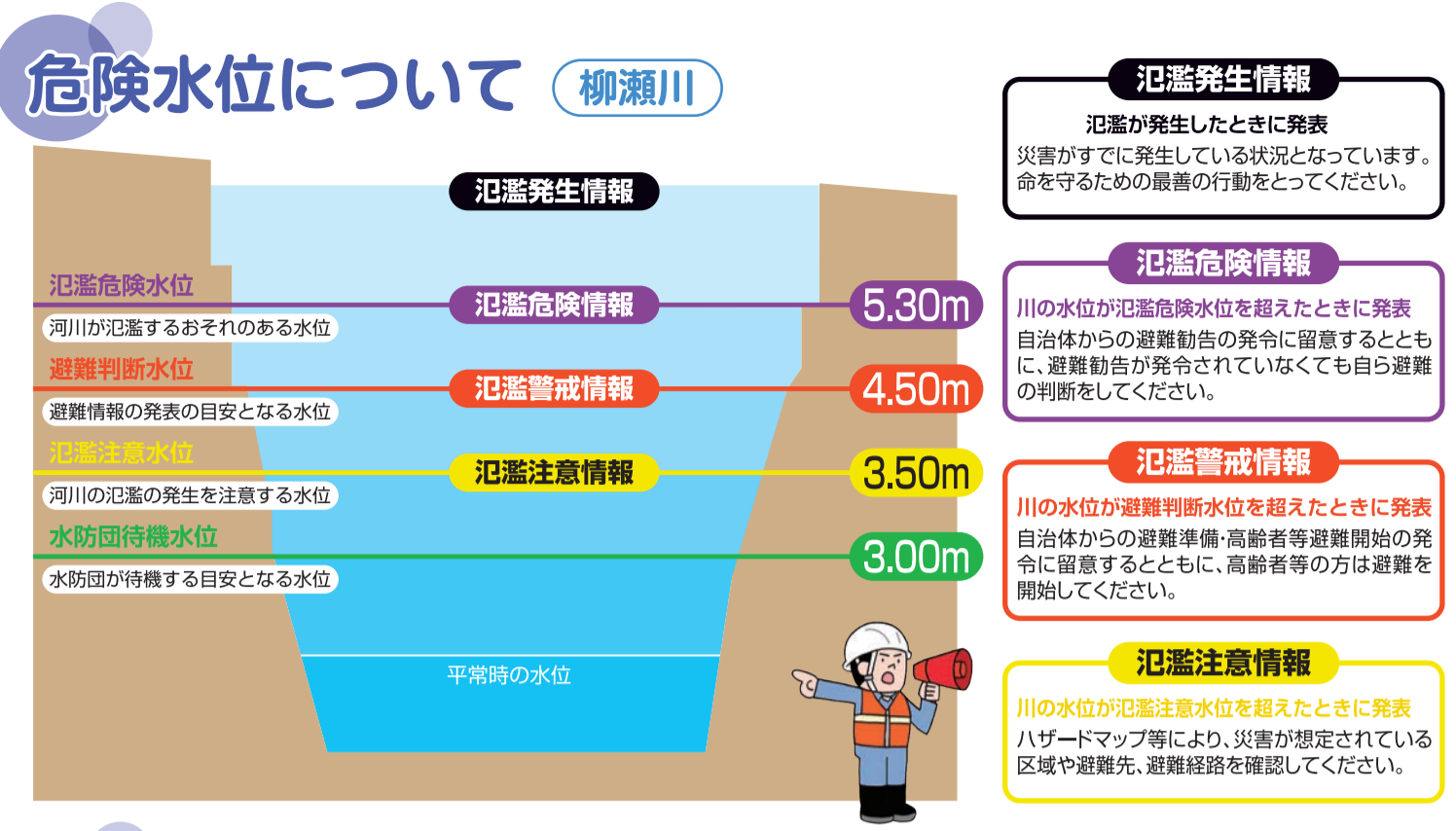
土砂災害の特徴と前兆現象

- かけ崩れ** 雨や地震などの影響によって斜面が突然崩れ落ちる現象です。
- 土石流** 石や土砂が、集中豪雨などによって水と一体となり、下流へ一気に流れ出す現象です。
- 地すべり** 大雨などでゆるくなった斜面が、ゆっくりと斜面下方へ動き出す現象です。

次のような前兆現象に注意し、危険を感じたら速やかに避難しましょう!

- 小石がバラバラと落ちてくる
- かけから水が湧き出ている
- 水にひび割れができる
- 山鳴りがする
- 川の音が濁り流木が漂着する
- 雨が降り続いているのに川の水位が上がっている
- 地面にひび割れや段差ができる
- 地鳴りがする
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が吹き出す

洪水 洪水予報は、町民が自らを守るために必要で重要な情報です。氾濫が発生する前に避難を完了しましょう。



浸水の深さと状況

浸水の深さによって状況は異なります。状況に応じた避難行動を考えましょう。

- 0.5m 未満の浸水** ●床下浸水 ●大人のひざ下程度 ●浸水の深さがひざ上になると歩行は危険
- 0.5~3.0m までの浸水** ●2階の床下まで浸水 ●1階部分が浸水 ●強い水流の中を歩くことは危険
- 3.0~5.0m までの浸水** ●2階の屋根まで浸水 ●水流が強い場合には、流出する危険がある

雨の強さと降り方 1時間の雨量

雨の様子や気象情報に注意を払いましょう。

雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm~
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	
ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のようにゴロゴロと降り続く	激しくなるような圧迫感や恐怖を感じる	

河川やがけなど災害の危険性のある場所には、近づかないようにしましょう。

地震 佐川町で発生するおそれのある地震

日本周辺で発生する地震は、中央構造線など内陸地下の活断層による「直下型地震」と海側プレートが陸側プレートの下に沈み込み、そのひずみの蓄積が限界に達したとき、陸側プレートが跳ね上がり、地震が発生する「海溝型地震」の2つに大別することができます。本マップでは、町内全域で非常に大きな揺れが起こり、かつ津波浸水のおそれがある「南海トラフを震源とする海溝型地震(最大クラス)」について記載しています。

被害を少なくするため、日常より防災対策(迅速な避難ができる準備や建物耐震化、家具転倒防止など)をしておきましょう。

震度6弱

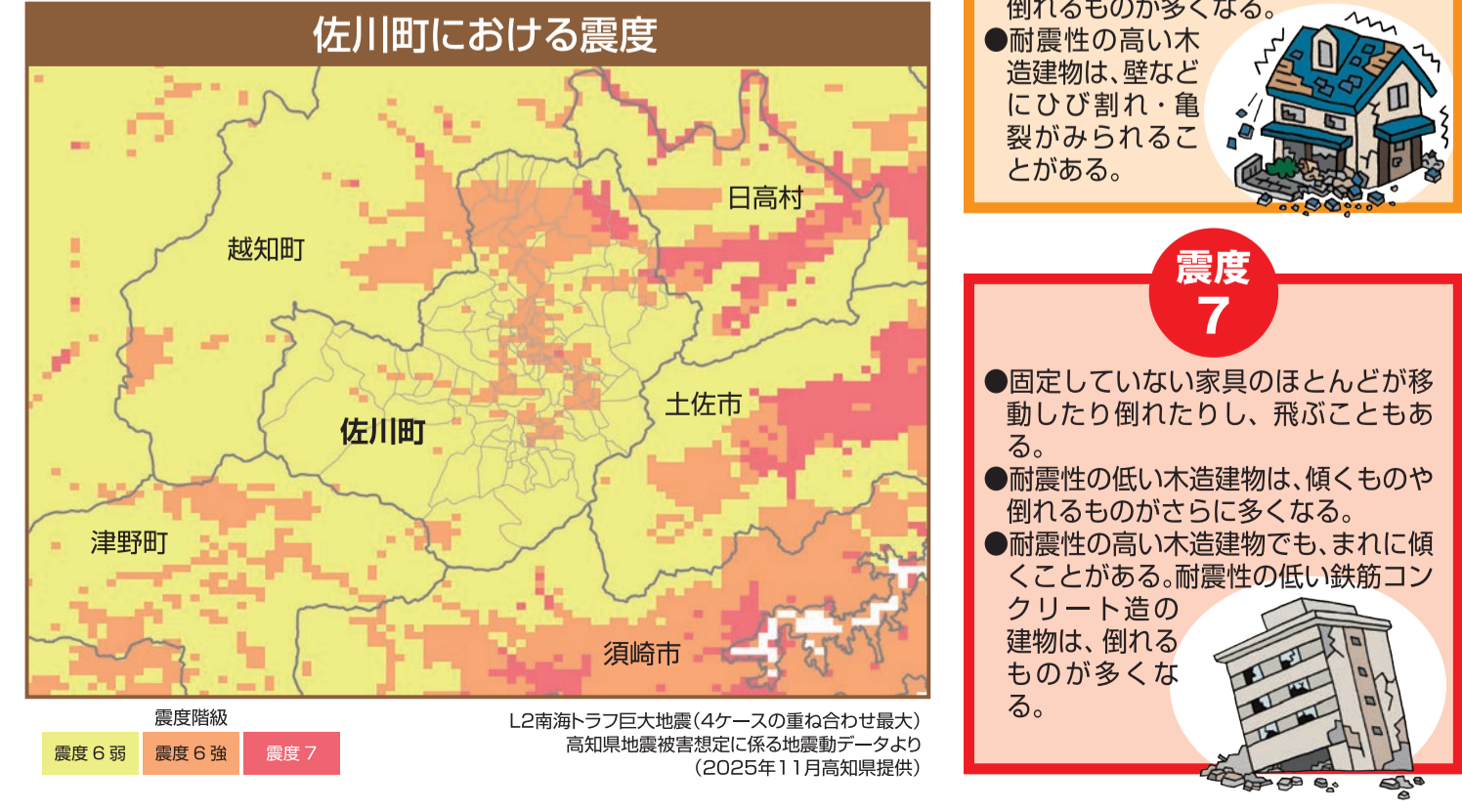
●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。 ●窓のガラスや窓ガラスが破損、落下する可能性がある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落ちたり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度6強

●立っていることができます、はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。 ●耐震性の高い木造建物は、壁などにひび割れ、亀裂がみられることがある。

震度7

●固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばされるものもある。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。 ●耐震性の高い木造建物の多くは、傾くこととなる。 ●家族同士で災害時の安否確認の伝達手段の確保 ●避難経路の確認など



災害から身を守る

各種災害からの防災行動

水害

- 気象情報(大雨・洪水・竜巻注意報など)** 災害が起きる前に避難完了できるよう、早めの行動を心がけよう!
- 避難指示** ●危険な場所から全員避難しましょう。 ●外が危険な場合は、自宅内より安全な場所へ避難しましょう。 ●その他他人は、避難の準備を整えましょう。
- 緊急安全確保** ●災害がすでに発生している可能性がある場合は、高い位置に避難しましょう。 ●命の危険が迫っている場合は、身の安全を確保してください。

洪水発生 ●少しでも高い場所へ! ●無理をしないで救助を待ちましょう! ●災害が起きたときは、逃げ遅れたときは、救助を待ちましょう。 ●救助を待ちましょう。 ●救助を待ちましょう。

逃げ遅れたら ●救助を待ちましょう! ●救助を待ちましょう! ●救助を待ちましょう!

地震発生 ●速に避難し、身の安全を確保! ●速に避難し、身の安全を確保!

揺れがおさまったら ●正しい情報を受け! ●正しい情報を受け! ●正しい情報を受け!

ミサイル発射 ●アラートによる情報伝達 ●アラートによる情報伝達 ●アラートによる情報伝達

国民保護 ●国民保護の要請 ●国民保護の要請 ●国民保護の要請

地域防災 災害時において要配慮者の方を守るために、地域で協力し合いながら、支援していきましょう。まずは、声をかけることが大切です。

自助 自ら取り組む 自助とは、自分自身や家族の命を守るため、日常的に災害に対する備えや、災害時の対応をい、自分や家族で防災に取り組む、自分(家族)の身は自分(家族)で守ることです。

- 食料、飲料水の備蓄
- トイレトイレットペーパー、常備薬などの日用品の備蓄
- 自宅の耐震化、耐火性の確保
- 地域の防災訓練
- 落下、移動防止
- 災害用簡易トイレの備蓄
- 家族同士で災害時の安否確認の伝達手段の確保
- 避難経路の確認など

共助 地域で、皆で協力して取り組む 共助とは、災害時に、まず自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々と助け合うことです。災害時に円滑な助け合いができるように、日常から地域防災の取り組みに参加するなどして近隣住民との交流を図りましょう。

- 近所の助け合い
- 自主防災活動への参加
- 共助への支援
- 高齢者、障がい者の支援など

公助 行政、公的機関が取り組む 公助とは、町役場、消防、警察、自衛隊などによる公的な支援のことです。地域防災計画に基づき、事前対策として、食料や飲料水などの生活物資の備蓄や資機材の整備、民間事業者や他の市町村との応援協定などを実施しています。

- 情報伝達機能の充実
- 避難所機能の充実
- 自助への支援
- 災害対応(人命救助、復旧・復興など)
- 防災訓練(関係機関との連携強化)

非常持ち出し品 世帯の状況に応じて大切なものや、日々欠かさないものをいざというときに備えましょう。

まずは基本リストをチェック!

食品

- 水(飲料水、調理用など)
- アルファ米、カップ麺
- 缶詰(肉、野菜、果物など) ※切切りが不要のもの
- レトルト食品
- 調味料
- 栄養補助食品、健康飲料粉末
- 菓子類(チョコ・氷砂糖など)
- 割り箸、フォーク、紙皿 など

生活用品

- カセットコンロ・ガスボンベ
- 食品の加熱や簡単な調理が可能
- ラップ □雨具 □新聞紙
- ライター・マッチ □ろうそく
- マット・シート □救急箱
- 筆記具(油性ペン) □メモ帳
- ゴミ用ポリ袋 □タオル
- ティッシュ、ウェットティッシュ

避難用具

- ヘルメット・防災ずきん
- 懐中電灯 □携帯ラジオ
- 携帯電話充電器/予備バッテリー
- 簡易トイレ(携帯トイレ) ※トイレは1人1日5回
- マスク □ロープ
- 手巾 □使い捨て手袋など
- ホイッスル □小型ナイフ

貴重品

- 免許証コピー
- マイナンバーカード
- 通帳コピー
- 現金 (紙幣だけでなく、硬貨も)

その他

- トイレットペーパー
- 口控ケグッズ(液体ハミガキなど)
- メガネ、使い捨てコンタクトレンズ
- 使い捨てカイロ □乾電池
- 持病の薬、常備薬(市販薬)
- お薬手帳コピー
- 家族の写真
- 連絡先 (家族・親戚・知人など)

各家庭の状況に応じたリストをチェック!

女性用品

- 生理用品
- ヘアゴム
- 鏡 など

子ども(保護者向け)用品

- お気に入りのおもちゃ
- おやつ
- 防犯ブザー
- アレルギーなどの情報メモ など

乳幼児用品

- 紙おむつ □おしりふき
- ミルク、離乳食 など
- ほ乳びん □ストロー
- 除菌シート

高齢者向け用品

- 常備薬
- 入れ歯および洗浄剤 など
- 必要な介護用品

個人的に必要とするもの

他に必要なものなど、家族で話合って書き出しておきましょう。

非常持ち出し品は、まさかには備えて、あらかじめリュックなどに入れておきましょう。避難するときは、すぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。